

第4期 健康ながはま21 進捗状況について

各分野別の現状と目標等

資料4

1. 健康増進計画（健康なひとつづくり）

※結果：◎目標達成、○改善、- 横ばい、×悪化

分野	主な指標	H30	R1	R2	R3	R4	目標（R5）	結果	実施状況
がん 高血圧・ 脂質異常症・ 糖尿病・ CKD・ COPD	胃がん検診受診率（%）	8.4	7.6	5.2	7.2	7.7	-	×	コロナの影響による受診控え等からR2年度受診率は大幅に落ちたものの、市民への受診啓発・感染対策を行った上の健診環境を整備し、R4年度の見込値では、コロナ前の水準まで回復している。
	大腸がん検診受診率（%）	13.9	13.0	10.5	12.3	14.4		○	R5年度は、定員数をコロナ前の水準に戻し、関係機関と連携した受診啓発を進めていく。
	肺がん検診受診率（%）	5.7	5.8	4.1	5.2	6.1		○	※当該受診率は市の検診を受診した人の受診率であるため参考値である。 (現行計画の目標値は、健ながアンケートでの定期受診をしている人の割合としている)
	乳がん検診受診率（%）	24.3	24.4	20.8	21.4	25.8		○	
	子宮がん検診受診率（%）	21.5	20.6	17.9	17.3	22.3		○	
	特定健康診査受診率（%）	39.8	41.4	29.4	37.1	36.2		- ※	×
	特定保健指導終了率（%）	37.2	45.9	57.2	55.8	27.7 ※	55%以上	◎	終了率の向上と共に指導の成果を出していくことが必要である。（R4年度の保健指導は現在も継続中であり、結果は5月末時点の中間値）
喫煙	喫煙率（%） 男性 (特定健診受診者)	24.2	22.9	22.3	21.6	22.0	- ※	○	男性は年々減少傾向である。 女性は横ばいの傾向が続いている。 特定保健指導や母子事業の場での対応と、地域や学校と連携した禁煙啓発の両面で進め、禁煙支援及び新規の喫煙者の減少を図っていく。 (現行計画の目標値は、健ながアンケートでの成人男性・女性喫煙率としている)
	喫煙率（%） 女性 (特定健診受診者)	3.2	3.8	3.1	3.4	3.5	- ※	-	
	妊婦の喫煙率（%）	2.1	2.3	1.9	1.5	1.1	1%未満	○	妊婦の喫煙率は減少傾向、飲酒率は横ばいであるが、母体及び将来を担う子どもの健康を守るためにも、引き続き妊娠前（子どもの時）からの健康づくり（プレコンセプションケア）を意識し、学校や医療機関・地域団体と連携した啓発が必要である。
飲酒	妊婦の飲酒率（%）	0.76	0.5	1.0	0.1	0.95	0%	-	
歯科	むし歯がない人の割合（%） 3歳児	82.6	84	88.2	85.4	87.7	85%	◎	園や学校を通した「お茶でバイバイ！むし歯菌」啓発や幼児歯科健診後の電話訪問等を実施し、近年、むし歯のない3歳児の割合は徐々に増加している。今年度はコロナ前の様に10ヶ月健診時の歯みがき指導や、フッ素塗布時の口内チェック体制を整え対応していく。
	むし歯がない人の割合（%） 12歳児	65.5	68.6	69.1	69.0		70%	○	むし歯のない人の割合が増加しており、徐々に改善傾向である。（R4年度実績は未公表）
高齢者の 健康	転倒予防自主グループ 参加者数の増加（人）	2,462	2,590	2,675	2,343	2,536	3,350人	×	前期高齢者の新規参加者が少なく、参加者の年齢層が後期高齢者に移行している。
	認知症サポーターの増 加（延人数）	30,807	34,113	35,679	36,883	38,644	32,896人	◎	サポーター数は目標値を達成。様々な世代が認知症を理解し、対応できる様に、企業・交通機関・高校等へも啓発を行っていく。

2. 健康増進計画（健康なまちづくり）

※結果：◎目標達成、○改善、- 横ばい、×悪化

分野	主な指標	H30	R1	R2	R3	R4	目標（R5）	結果	実施状況と課題R5.5月時点
次世代の健康	朝食欠食者の割合 中学2年生（%）	3.2	4.9	4.7	4.9	6.0	減少傾向	×	給食献立表や食育アンケート結果のお知らせを通じて朝食や生活リズムの大切さについて啓発を行っている。子どもたちの生活環境の乱れが懸念されることから、今後も継続して規律正しい生活を送ることの大切さについて啓発を行っていく。
	朝食欠食者の割合 3歳8か月児（%）	0.1	0	0.2	0.1	0.25	減少傾向	-	増減率は横ばい傾向。朝食の必要性について乳幼児健診や子育て広場、学校の食育事業などで対応していく。
	全出生数中の低出生体重児の割合（%）	8.6	9.0	9.5	7.5	9.3	減少傾向	-	一定横ばい傾向にあるが、妊娠中だけでなく妊娠前からの健康づくり（プレコンセプションケア）の啓発が必要である。
地域医療	休日昼間の3病院の救急外来 と休日急患診療所の受診者 総数のうち、休日急患診療 所の受診割合（%）の増加	50.4	53.5	34.7	32.4	35.7	55%以上	×	新型コロナウイルス感染症による医療機関への受診控えもあるが、休日急患診療所の周知・利用、適正受診について乳幼児健診、広報等にて啓発を実施した。今後も軽症であれば休日急患を利用するよう周知を行っていく。

3. 食育推進計画

※結果：◎目標達成、○改善、- 横ばい、×悪化

分野	主な指標	H30	R1	R2	R3	R4	目標（R5）	結果	実施状況と課題R5.5月時点
食育推進	肥満の割合 小5男子（%）	8.6	10.8	12.7	9.7	14.5	適正体重を維持している人の増加	×	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う休校や生活様式の変化等により、子どもたちの生活習慣の乱れが生じている。学齢期の子どもたちには、規則正しい食生活や適度な運動をすることなどを食育や体育の学習等を通じて、継続して指導する必要がある。
	肥満の割合 小5女子（%）	6.8	6.4	8.2	8.5	8.0		×	
	やせの割合 小5男子（%）	2.6	2.4	2.9	2.7	2.2		○	
	やせの割合 小5女子（%）	2.8	3.0	2.7	3.0	2.1		○	
	特定健診受診者のうち BMI 25以上の割合（男性）（%）	28.2	29.0	30.0	30.7	30.1	-	※	割合が増加傾向である。引き続き野菜摂取や食事バランスについての啓発が必要である。また将来の肥満を予防するために若いうちからの啓発も必要である。 (現行計画の目標値は、健ながアンケートでの男性肥満割合（体重と身長から算定）の減少としている)
	特定健診受診者のうち BMI 25以上の割合（女性）（%）	21.2	20.9	19.9	20.9	20.4	-	※	割合に大きな変化はない。引き続き野菜摂取や食事バランスについての啓発が必要である。また将来の肥満を予防するために若いうちからの啓発も必要である。 (現行計画の目標値は、健ながアンケートでの女性肥満割合（体重と身長から算定）の減少としている)

4. 自殺対策計画

※結果：◎目標達成、○改善、- 横ばい、×悪化

分野	主な指標	H30	R1	R2	R3	R4	目標（R5）	結果	実施状況と課題R5.5月時点
自殺対策	自殺死亡率 (人口10万対)	15.9	24.5	10.2	14.5	19.9	9.9以下	×	自殺死亡率は高くなり、目標に達していない。引き続き、啓発や研修等の自殺予防に関する取り組みを行う必要がある。
	ゲートキーパー研修 受講者数（延人数）	2,131	2,504	2,626	3,110	3,491	延 3,600人	○	受講者数は計画通り増加している。様々な世代がゲートキーパーについて理解し対応できる様に、引き続き、ゲートキーパー研修を行う必要がある。